

ISO/TC 68 国内委員会総会 議事録¹

日 時：2022 年 12 月 15 日（木）13：00～17：30
場 所：日本銀行本店（Cisco Webex 会議）
出席者：ISO/TC 68 国内委員会 松本委員長・委員・リエゾン・事務局
日本銀行 神山決済機構局長、下田参事役 ほか

- 2022 年 12 月 15 日に開催された ISO/TC 68 国内委員会総会の議事の模様は、以下のとおり（詳細は当日配付資料を一部抜粋した別添資料を参照）。

開会挨拶

ISO/TC 68 国内委員会委員長の松本横浜国立大学教授、日本銀行決済機構局の下田参事役が開会挨拶を行った。

—— 松本委員長は、新型コロナウイルス感染症は依然として拡大・縮小を繰り返しているが、そうした中でも各プロジェクトの活動は進捗しており、コミュニケーションのチャンネルが広がったことによって、むしろより効率的な業務が可能となった面もある。金融業界でも、新たな取り組みが多数出てきている。いわゆるブロックチェーンを用いた分散型台帳技術が引き続き関心事項となっているほか、電子マネー関係や取引の自動化等についても、多様な変革が起こっている。本日も、大部な資料を事務局に用意いただいたことに御礼申し上げる。国内作業部会やリエゾンからの最近の活動状況の報告をもとに、十分な議論をお願いしたい、と述べた。

—— 下田参事役は、ISO/TC 68 国内委員会は、日頃の皆様方の活動によって支えられており、国際標準化活動へのご理解と積極的な参画に感謝申し上げます。国際標準の活用は、利便性の高い効率的な決済システムを構築し、運営していく上で大変重要なものであり、日本銀行決済機構局が行う決済システムの企画やオーバーサイト活動等においても避けて通れないトピック。国際標準の策定プロセスにおける日本の発言力をさらに高めるためにも、引き続き皆様方のご参画と

¹ ISO（International Organization for Standardization：国際標準化機構）/ TC 68（Technical Committee 68：金融サービス専門委員会）は、金融業務に利用される情報通信技術や情報セキュリティ技術等の国際標準化を担当している。ISO/TC 68 国内委員会は、ISO/TC 68 所管の金融サービス分野における国際標準化について国内での審議および情報共有等を行うことを目的とし、本委員会の総会は議長を務める委員長が招集して年 2 回程度開催すること、本委員会の審議はこの総会において行うことを原則としており、議事については議事録を作成する（ISO/TC 68 国内委員会運営規約 <https://www.boj.or.jp/paym/iso/isotc68/data/kiyaku.pdf>）。

ご協力をお願い致したく、我々も事務局業務を通じて国際標準化活動にしっかりと貢献して参りたい、と述べた。

1. ISO/TC 68 の報告

1-1. SC2、1-2. SC8、1-3. SC9、1-4. TC68

最近の ISO/TC 68 の動向について、TC 68 および同傘下の WG・SG・AG 毎に、各国内作業部会の取り纏め役（もしくは事務局）から、策定中のドラフトや規格について、概要・経緯・足許の進捗状況・今後の作業スケジュールの報告項目について説明がなされた後、討議が行われた。

2. 委員会審議

2-1. ISO/TC 68 国内委員会総会の議事録（2022 年 6 月）

2-2. ISO/TC 68 国際投票案件（2022 年 6 月総会からの進捗分、12 月 9 日時点）

2-3. ISO/TC 68 国内委員会運営規約の一部改正

事務局より、前回総会以降にメール審議を実施した国際投票案件の状況について確認を行った²。ISO/TC 68 国内委員会運営規約の一部改正は承認された。

3. ISO/TC 68 関連の報告

3-1. ISO 20022 RMG

ISO 規格「ISO 20022」（ISO/TC 68/SC 9 所管）の登録管理グループ（ISO 20022 RMG）および同傘下グループの SEG 等の動向について、田貝氏（ISO 20022 RMG Convenor）、橋本・杵渕（日本銀行／RMG メンバー）、各 SEG 等のエキスパートから、概要・経緯・足許の進捗状況・今後の作業スケジュールの報告項目について説明がなされた後、討議が行われた。

3-2. ITU-T/Digital Currency Global Initiative

国際電気通信連合（International Telecommunication Union）・電気通信標準化部門（Telecommunication Standardization Sector）のデジタル通貨グローバル・イニシアティブ（Digital Currency Global Initiative）が取り組んでいる研究に関して、丸尾（日本銀行）から、概要・経緯・足許の進捗状況等の報告項目で説明が行われた。

² 国際規格の開発には、以下の 6 段階のプロセスがある*。予備業務項目（PWI: Preliminary Work Item）→ 新業務項目提案（NP: New work item Proposal）→ 作業原案（WD: Working Draft）→ 委員会原案（CD: Committee Draft）→ 国際規格案（DIS: Draft International Standard）→ 国際規格（IS: International Standard）。
※ 必要に応じて、DIS 投票時におけるコメントを踏まえた最終国際規格案（FDIS: Final Draft International Standard）の投票が実施され、その場合、7 段階のプロセスとなる。

4. リエゾンからの報告

4-1. ISO/TC 307 (Blockchain and Distributed Ledger Technologies)

ISO/TC 307 国内審議委員会の鈴木委員より、TC 307 の最近の動向について報告が行われた。

4-2. ISO/IEC JTC 1³/SC 17 (Cards and Security Devices for Personal Identification)

ISO/IEC JTC 1/SC 17 国内委員会の廣川委員長より、SC 17 の最近の動向について報告が行われた。

4-3. ISO/IEC JTC 1/SC 27 (IT Security Techniques)

ISO/IEC JTC 1/SC 27 専門委員会の近澤委員長より、SC 27 の最近の動向について報告が行われた。

4-4. ISO/IEC JTC 1/SC 37 (Biometrics)

ISO/IEC JTC 1/SC 37 専門委員会の坂本委員長より、SC 37 の最近の動向について報告が行われた。

5. 事務局からのご連絡

5-1. 委員の異動、リエゾン交代 (2022 年 6 月総会以降の変更、12 月 9 日時点)

5-2. ISO/TC 68 国内委員会ホームページのリニューアル

全面的な見直しを実施し、10 月 28 日に对外公表したことを連絡した。

5-3. 次回総会開催予定

ISO/TC 68 国内委員会総会は 2023 年 6 月 8 日に開催を予定していること、ISO/TC 68 国際会合および ISO 20022 RMG 国際会合は 2023 年 5 月 22 日～26 日にシドニー（オーストラリア）で対面形式にて開催される予定であること等を連絡した。

閉会挨拶

TC68 国内委員会委員長の松本横浜国立大学教授が開会挨拶を行った。

—— 本日も長時間に亘り、非常に整理された準備のもとで効率良く会議を開催できたことを皆様方の努力に感謝申し上げるとともに、引続き各方面での活躍を期待したい、と締め括った。

以 上

³ ISO と IEC (International Electrotechnical Commission : 国際電気標準会議) との合同技術委員会。